

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			十分な広さが確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1		徐々にそろいつつある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			玄関前にスロープ、トイレに手摺等で配慮されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2		レクリエーションを事前に計画し実行、確認、評価と一連に行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1		年に1回実施している。アンケート内容を元に無理なく改善している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2		ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	3	現在第三者評価は行っていない。必要があれば行っていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			法人内で独自の研修を実施している。事業者内ではあまり出来ていないため力を入れていきたい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			モニタリングを行い子供の特性を把握し作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2		利用開始時のアセスメント案を用いている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		チームで企画し行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		支援員の日直を交代しながら固定化しないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		朝礼時に課題の確認をしており児童の取り組んでいる様子を元に次の課題に移行している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		児童の特性を確認し、個別課題と集団レクリエーションを組み込んで計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			朝礼を行い確認をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			必ずではないが必要に応じて共有事項を洗い出し、支援員同士話合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1		個々に行動記録を作成している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		半年に1回モニタリングを行い、その都度支援の見直しを図っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	3		基本活動を元に支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2		管理者が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1		引き渡し時に情報共有をしているため漏れや不備が無いようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	3	今後検討していきたいが、人員配置、器具などの課題が残されている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5		連絡体制がないため、今後検討し努力していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	1	連絡体制がないため、今後検討し努力していきたい。現在卒業生でボランティアをしている児童がおり
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4		助言を求めて連絡を取る場合がある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	公園などの外出時にかかわることはまれにあるが、計画して交流することはない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5			管理者が出席している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			帰宅時、お迎え時に状況を伝えている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	1	相談事に対して助言程度にとどまっている。ペアレントトレーニングまでは行っていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2		契約の際説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			行っている。また、即答できない場合は職員間で話し合い、管理者から連絡を取ることもある。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	現在は開催しておりません。法人の方針に従い、必要なら検討していきたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		苦情があった際には即日回答している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		おたよりを毎月発行しています。事業所の玄関にも掲載しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			個人情報に関わる書類は書庫にて保管しております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		サインを用いて話をしたり分かりやすく端的に話をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	地域住民を招待したイベントは行っていません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		マニュアルがあり職員には周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2		月を跨いで実施していたことが多かったため今後は毎月行うよう善処します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			研修を行っている。また、外部の研修も受講し、研修報告を職員に行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3		現状拘束せざるを得ない状況まではいっていない。しかし今後起こりうる可能性があるため職員と話し合い検討していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		5		保護者から対応を確認しているが、医師との関わりはない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1		職員全員で共有している。

児童デイSES藤枝あおじま校